

文部科学省 オープン・リサーチ・センター整備事業



▲ 会場からの質問に答えるディスカッション

7世紀から9世紀にかけて往来した遣唐使の役割やその後の影響を探る「古代東アジア世界史と留学生」プロジェクトの本年度初の公開講座

「東アジア世界史研究センター」公開講座

「留学生が通った道ともたらしたものの」(社会知性研究センター)東アジア世界史研究センター主催の7月26日、生田キャンパスで200人の聴衆を集めて開催された。

遣唐使の旅と伝来物 豊富な資料で再現

7世紀から9世紀にかけて往来した遣唐使の役割やその後の影響を探る「古代東アジア世界史と留学生」プロジェクトの本年度初の公開講座

「留学生が通った道ともたらしたものの」(社会知性研究センター)東アジア世界史研究センター主催の7月26日、生田キャンパスで200人の聴衆を集めて開催された。



▲ ウィリアム・モリスの作品について講演する松下教授(丸善・丸の内本店で)

「言語・文化研究センター」公開講座
モリスとポッティチェリ
ひと味違う魅力紹介

7月5日は、前期公開講座「ヨーロッパ近代美術の魅力II」が東京・千代田区の丸善・丸の内本店で開催され、ビクトリア朝とルネサンス時代の美術を紹介、70人が来場した。

6月29日には公開講座「中世英文学研究の諸相」が神田キャンパスで開催された。

内田誠一・九州大学院システム情報科学研究教授がOCR(光学文字認識)の基本原則を紹介し、中世英文学資料の認識の難しさや今後の可能性を探った。

人文科学研究所がシンポジウム

地域ぐるみで考える 文化財の保存と活用



▲ 活発な議論が展開されたディスカッションで左から土生田教授、若狭氏、青木氏、嶋根教授

地域の文化財の保存・整備や活用を考えるシンポジウム「文化財の保存と活用」(人文科学研究所)

「市場のつづき」聞き取ろう
中小企業公開講座で 黒瀬直宏教授が講演

「市場のつづき」聞き取ろう

中小企業公開講座で 黒瀬直宏教授が講演



▲ 講演する黒瀬教授

本学大学院の商学研究 同公開講座が7月19日、科(渋谷武夫研究科) 神田キャンパスで開催され、東京信用保証協会(横) 第1部では中小企業(山洋吉理事長)による共

専修人の新し本

数式を使わずに 物理がわかる本

「利益の質」分析

裁判員制度を批判する

本書は、本紙434号で紹介した第1巻の続編で、波の物理学からはじめ、原子の物理学である量子論まで扱っている。

「利益の質」分析
著者は、このように注目を集めている利益の質という概念、そして利益の質の企業評価への適用という問題について、理論的・実証的な検討を行った。

裁判員制度を批判する
来年5月から施行される裁判員裁判により、国民の司法参加が始まる。

小田中 聡著
来年5月から施行される裁判員裁判により、国民の司法参加が始まる。